

オルテリウス「世界地図帳」

整理第二課 寺嶋直子

コロンブスが初めて新大陸アメリカに到達したのは、今からちょうど500年前の1492年である。当時のヨーロッパは、貿易、宗教等、様々な動機から、アジア等の未知の世界への探検航海がブームとなる大航海時代であった。探検者達は、当時の不完全な地図を頼りに航海し、また、彼等の航海により未知の世界が次第に明らかになり、地理学においても飛躍的な進歩を遂げた時代でもあった。

当館では、そんな当時を思い出させるような古地図を数点所蔵している。今回は、世界で初めての近代的なアトラス（地図帳）といわれているオルテリウスの「世界地図帳」について紹介する。

オルテリウス（Abraham Ortelius）は、1527年アントワープで生まれ、20歳の時

に地図彩色家、販売者となった。彼の仕事は成功し、国内外の地図に関する広範な知識を習得していった。そして、1564年に、世界地図（Typus Orbis Terrarum）、1565年にエジプト地図、1567年にアジア大地図といった具合に、次々と地図を出版した。また彼は、貿易業者や航海業者など、一般の地図の利用者にも便利のように、多くの地図を体系的に集めたアトラスが必要であると考え、1570年には、彼の収集した地図の集大成である「世界地図帳」を出版した。この「世界地図帳」の出版は直ちに成功を収め、その後1612年までに実に41版ものフォリオ版が出版された（表1参照）。その影響は大きく、以後の1世紀は“地図帳の時代”とさえいわれている。

[表1] Folio Editions of the “Theatrum Orbis Terrarum” of Ortelius

* 1570 (Latin text)	* Additamentum II, 1579	* Additamentum V, 1595
* 1570 (Latin text)	Re-issued 1580	* 1595 (Latin text)
* 1570 (Latin text)	* 1579 (Latin text)	* 1598 (French text)
1570 (Latin text)	* 1580 (German text)	* 1598 (Dutch text)
* 1571 (Latin text)	* 1581 (French text)	1600 (Spanish text)
* 1571 (Dutch text)	* Additamentum III, 1584	* 1601 (Latin text)
* 1572 (French text)	Latin and German, 1584;	1602 (German text)
* 1572 (German text)	French 1585	* 1602 (Spanish text)
1572 (German text)	* 1584 (Latin text)	* 1603 (Latin text)
* Additamentum I, 1573	1584 (Latin text)	* 1606 (English text)
* 1573 (Latin text)	* 1587 (French text)	1607 (Latin text)
1573 (German text)	* 1588 (Spanish text)	* 1608 (Italian text)
* 1574 (Latin text)	1589 (Latin text)	1609 (Latin text)
1574 (French text)	* Additamentum IV, 1590	* 1612 (Latin text)
* 1575 (Latin text)	1590 (Latin text)	* 1612 (Italian text)
1578 (Latin text)	* 1592 (Latin text)	* 1612 (Spanish text)
1578 (French text)		

The British Museum possesses all the editions in the above list marked with an(*).

標題は、『Theatrum Orbis Terrarum (世界の舞台)』であるが、シェークスピアの1599年の作品『お気にめすま』の第二幕七場の、“All the world’s stage”(この、限りなく広い世界という舞台、世界はすべてお芝居だ〔阿部友二訳による〕という一節*1は、彼の標題の「世界の舞台」という言葉を、意識して使用したようである。1573年、彼はスペインのフィリップ2世により地理担当官 (Geographus Regius) に任命されている。

さて、この「世界地図帳」は、彼が収集したコレクションのうちから、世界各地における最新の、また、最良の地図を選別し、それらを一定の標準化された大きさに再刻し、体系的に一巻の地図帳にまとめたものであり、それ故に世界で初めての近代のアトラスといわれている。

この初版について、OCLC を使って書誌検索したところ、1570年出版の初版は、アントワープの Commenius Diesth で印刷され、5月20日に出版されたようである。また1960年～70年頃にこの初版の復刻版が数種類刊行されており、Library of Congress はじめ、アメリカの大学では、これを所蔵している大学も多い。ここに紹介する当館本は1579年に出版されたラテン語テキストのものであるが、印刷所はアントワープの Christophorum Plantinum となっている。また初版は53葉に70図の地図が載せられたフォリオ版であるのに対し、当館本の1579年版は、93葉に126図の地図が載せられている。このうちで、第91～93葉には、“Parergon Theatri” と題して歴史地図を4図、この版より新たに加えている。〔図1参照〕

〔図1〕



92. ローマ帝国図 (Romani Imperii Imago)

参考までに、1579年版に関する3種類の書誌——British Library、フランスの Bibliothèque nationale のカタログにおける書誌、OCLCメンバー館（この場合は、Trinity College, Hartford）入力による書誌——を図2に示しているが、三者三様の記述となっているのがわかる。いずれにせよ、1570年から1612年の間に5度にわたる追加版（Additamentum）が刊行され（表1参照）、それらが随時アトラス本編に組み入れられ、より充実したものとなったと考えられる。

当館本の1579年版は、大きさが44cmと大きい、非常に良い状態で保存されており欠損は殆ど見られない。序文には、著者順の地図目録“Catalogus Auctorum”が記載されており、当時の地図文献の重要な資料となっ

ている。第1葉には、既に1564年に出版した世界地図（Typus Orbis Terrarum）が載せられており、この中にはJapan（日本）も描かれている。

各々の地図には解説がつけられており、また殆どの地図に対して、その地図の作成家の名前を表記している。このこともまた「世界地図帳」が当時の優れた個々の地図を現存させたという点において貴重な資料集となっている所以である。

これら93葉の地図の後に新たな標題紙をもつ“Nomenclator Ptolemaicus”(77p.)が付加されている。この中には、ページ付けのミスプリントが、2カ所発見された。59ページとなるはずのページが61ページ、同様に27ページが19ページと印刷されている。キャッ

[図2]

「British Library のカタログにおける書誌」
—[Another edition.] Opus nunc denuo ab ipso auctore recognitum, etc.

[90 maps, with “Parergon”(3 maps), portrait of Orlelius, and “Nomenclator Ptolemaicus.” Coloured.] Apud Christophorum Plantinum: Antverpiae, 1579, fol. Maps.C.2, c.13.

「OCLCデータベースにおける書誌」

Ortelius, Abraham, 1527–1598.

Theatrum orbis terrarum; opus nunc denuo ab ipso auctore recognitum, multisque locis castigatum & quamplurimis novis tabulis atque commentarijs auctum. — Antverpiae, C. Plantinum, 1579.

[114] fold. maps. 43 cm.

For complete description of the atlas see P. L. Phillips. A list of geographical atlases in the Library of Congress, no. 386 and 3393.

Includes “Parergon theatri”: maps 91–93.

Issued with the author’s Nomenclator Ptolemaicus with separate t.p.

1. Atlases—Early works to 1800. 2. Geography—15th–16th centuries. I.

Ortelius, Abraham, 1527–1598. Nomenclator Ptolemaicus. II. Title. III. Title: Nomenclator Ptolemaicus.

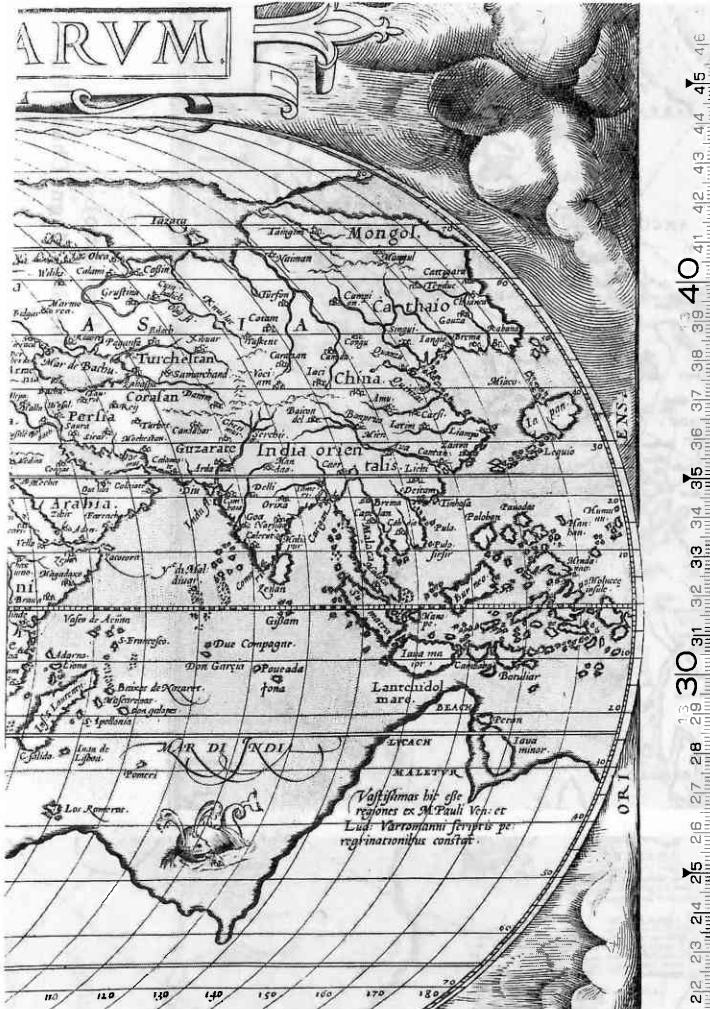
「Bibliothèque nationale のカタログにおける書誌」

—Theatrum orbis terrarum, opus nunc denuo ab ipso auctore recognitum, multisque locis castigatum et quam plurimis novis tabulis atque commentariis auctum. [Parergon in quo veteris geographiae aliquot tabulae. Nomenclator Ptolemaicus omnia locorum vocabula quae in tota Ptolemaei “Geographia” occurrunt, continens... De Mona druidum insula antiquitati suae restituta... epistola... Humfredi Lhuyd.] — Antverpiae, apud C. Plantinum, 1579. In-fol., 10 ff. de pièces limin. dont 5 de tables, 100 cartes avec texte explicatif, 2 ff. ch. 101 et 102, 12 cartes ch. 103 à 114, 77 p., 4 ff. non ch., letrines et fig. gr., titre gr. avec encadrement, portrait gr., cartes gr.

[Rès. Ge. DD. 837

(Les fig., le titre, le portrait et les cartes sont coloriés.—Le Nomenclator Ptolemaicus a un titre spécial. On a cullé à la fin un fol. portant une table manuscrite.)

〔図3-1〕

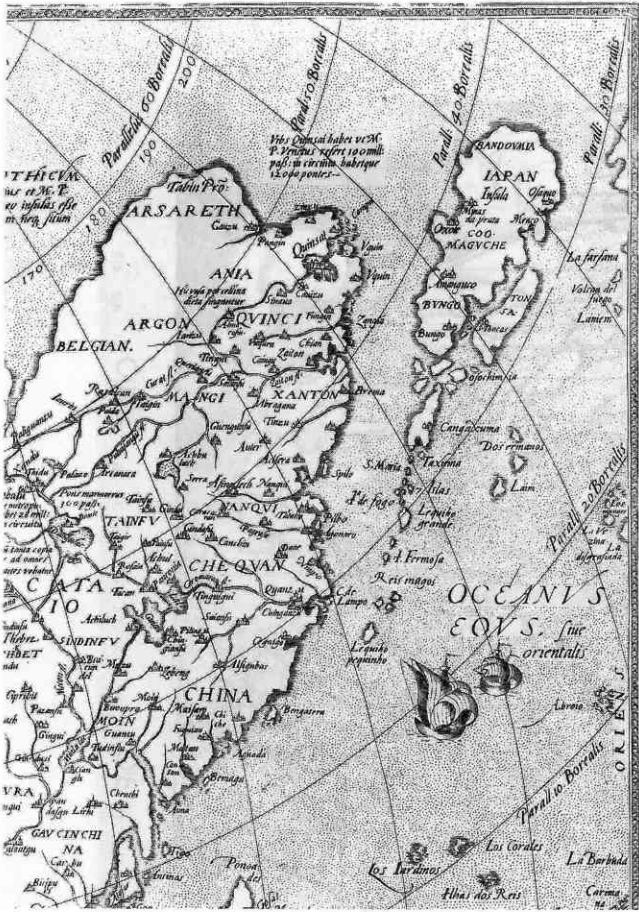


1. 世界地図 (Typus Orbis Terrarum)

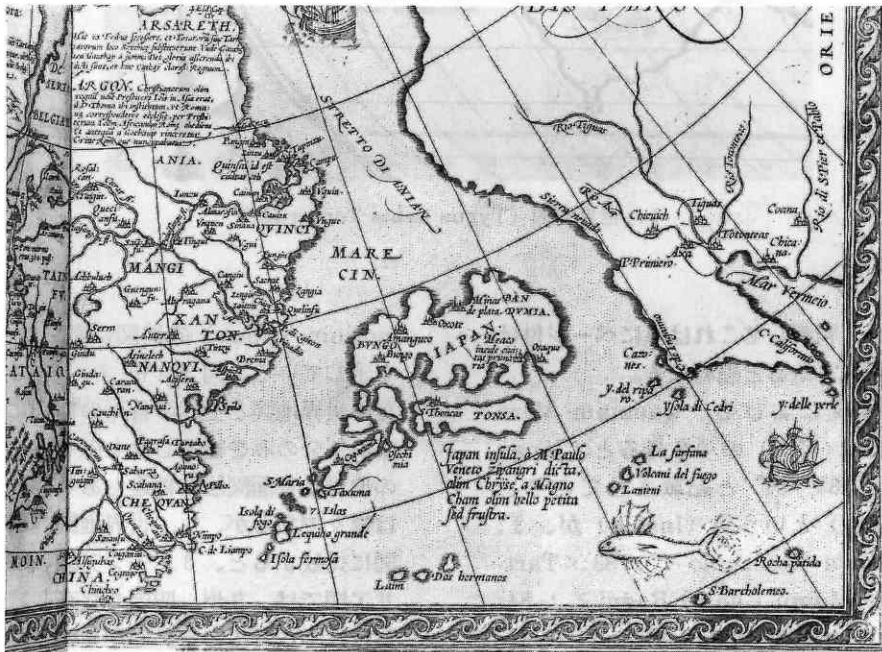
チワードから判断してこれは単にページ付けの数字のミスであると思われる。

さて、序文における“Quoniam Vero Plures”のI (アイ) の項を見ると、“Iapan Insula 3, 83, 84”と記載されており、Iapan (日本) という島 (Insula) が、3: <Asiae Nova Descriptio> ; 83:<Tartariae Sive Magni Chami Regni> ; 84:<Indiae Orientalis Insularumque Adiac-

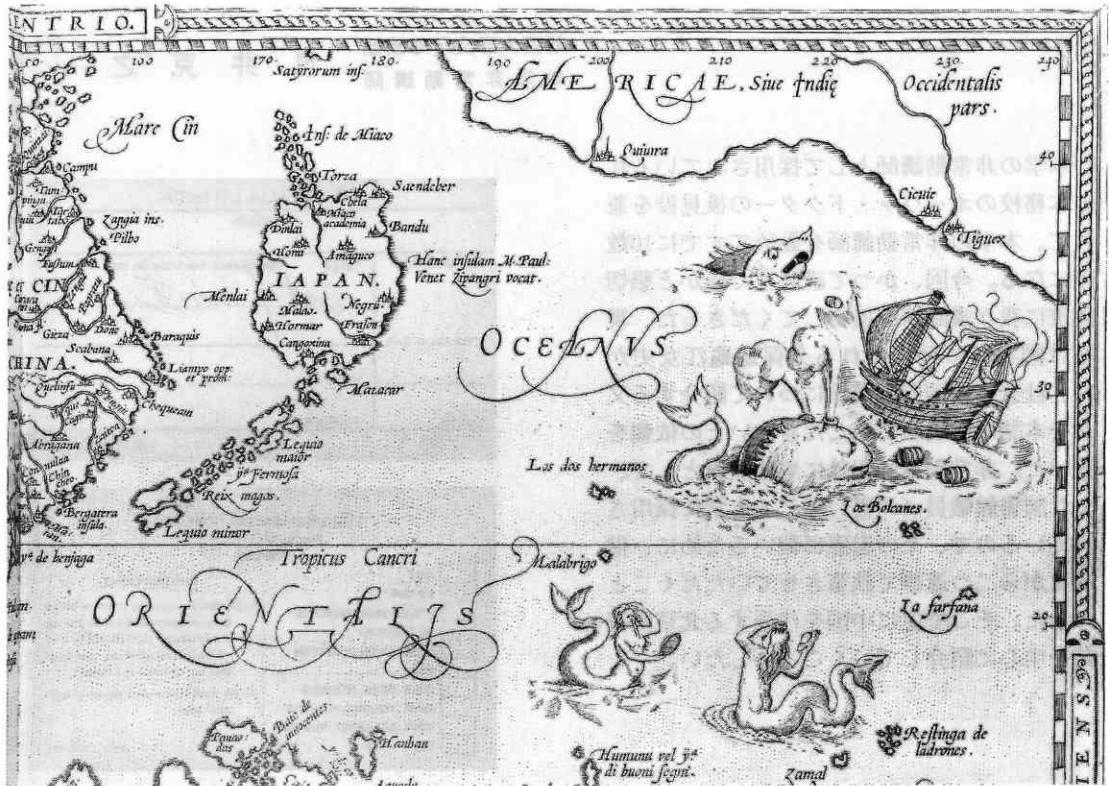
ientium Typus>の地図に載っていることを示している。図3 (P. 7~P. 9) は第1葉の世界地図と上記の各々の地図における日本の部分のみを複写したものである。これらの地図は平面図法の相違もあり、日本の地形は様々であるが、1. 世界地図、84. インド図に比較すると、3. アジア図、83. タルタリア図では、九州、四国も存在し、かなり現形に近くなっている。しかし、どの地図にも



[上] 3. アジア図 (Asiae Nova Descriptio)
 [下] 83. タルタリア図 (Tartariae Sive Magni Chami Rigni)



[図3-3]



84. インド図 (Indiae Orientalis Insularumque Adiacentium Typus)

北海道は存在していない。

教会の位置した場所には、教会のマークと地名がローマ字表記されているが、鹿児島が Cagaxuma, Cangoxina の 2 種類の表記となっているなど、地図ごとに様々な表記である。これらの地名は当時の宣教師達によってもたらされたものである。

このように1579年版には、日本は、世界地図、アジア図の一部としてのみ記載されているが、その後の1595年版には、テイシェイラ作の日本専図が登場する。(これについては、『香散見草』第13号で河合忠信教授が紹介済である)。

この「世界地図帳」には装飾が美しい地図も数多くあり、海には帆船や人魚などのイラストが描かれ、当時の航海者達の世界観を垣間見ることが出来、非常に興味深い稀覯書の一つといえる。

[引用文献]

※ 1. 織田武雄「古地図の世界」講談社 1981, p. 293-294.

表 1. R. V. Tooley, 「Maps and map-makers」 Bonanza Books 1962, p.30.